

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年6月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備の二次燃焼器とストーカの接続部における亀裂の確認について】 当直員がパトロールにて、増設雑固体廃棄物焼却設備の二次燃焼器とストーカ(※)の接続部に亀裂を確認。本系統はブローにて負圧維持をしていることから、外部への放射性物質の漏えいはなし。 今後、原因の特定および補修を行う。</p> <p>※ストーカ:階段上に火格子を並べ、ゴミを移動させながら燃焼させる設備</p>	G II	6月18日
2	<p>【6号機Fタンクエリアの淡水化装置濃縮水出口電動弁および濃縮水戻り逆止弁のシート漏えいについて】 当社社員が、6号機Fタンクエリアの淡水化装置停止後の濃縮水一次側圧力が、通常運転圧力より高いことを圧力計にて確認。 通常、当該装置が停止した際に閉状態である濃縮水出口電動弁および濃縮水戻り逆止弁が、シート漏えいにより濃縮水が逆流し、濃縮水一次側圧力が上昇したものと推定。 なお、当該装置運転中の濃縮水出口電動弁および濃縮水戻り逆止弁は、開状態であり、運転機能には影響なし。 今後、当該弁2台を交換予定。</p>	G III	6月17日